

病理組織/細胞検査学実習 ガイダンス

目的

- ・ 1) 病院での病理検査や生命科学研究を進める際に必要な細胞組織学的解析法の実際を小動物を用いて学ぶ。
- ・ 2) 臓器の摘出、切り出し、固定、薄切、染色法（HE. 染色、特殊染色、免疫染色、ギムザ染色、パパニコロウ染色など）の実際を行う。
- ・ 3) 小動物の扱い方にも習熟する。
- ・ 4) 作製した標本を用い、諸臓器の組織形態を光学顕微鏡を用い観察し理解を深める。
- ・ 5) 得られた知識を発表する。

実際

- ・ 月・火曜日 計8回
- ・ 3F, 2F実習室、314号
- ・ 9班に分かれる。
- ・ 番号が一番若い一班長
- ・ 材料 マウス オス1、メス1

	1	2	3	4	5	6	7	8
解剖								
固定								
自動包埋機								
包埋								
薄切								
標本作製								
HE染色								
M-T染色								
免疫染色								
検鏡								
ギムザ								
パパニコロウ								
写真/発表準備								
発表								

3F

2F

314

313号室も使用

発表

- ・ 最終日13時から
- ・ 各班 8 分 質疑応答5分
- ・ 割り当てられた臓器についてpower pointを用いて発表する。
- ・ スライド10枚程度
- ・ 臓器の解剖（体における位置、血管支配など）
- ・ 生理的機能
- ・ 組織所見（弱拡大、強拡大）
- ・ 細胞の名称、機能、特徴など総合的に
- ・ 発表したファイルは提出—後日、公開予定

臓器割当一くじ引き

- 心臓、大血管
- 肝臓、膵臓
- 肺、気道
- 腎臓(副腎or膀胱)
- 消化管(胃、大腸)
- 女性生殖器(卵巣、子宮)
- 男性生殖器(精巣、前立腺)
- 脾臓、胸腺
- 脳 or 筋肉、皮膚

- ・ ●正常組織画像の自習に役立つサイト
- ・ Online Exercise for Histology（札幌医大）
- ・ <http://www.sapmed.ac.jp/histology/index.html>
- ・ 電子図書館・組織ミュージアム（群馬大学）
- ・ <http://anatcb.dept.med.gunma-u.ac.jp/~anat1his/index1.htm>
- ・ 岡山大学医学部医学科 組織学プレパレート
- ・ <http://kc.hospital.okayama-u.ac.jp/~histology/index.html>
- ・ ●細胞生物学の自習に役立つサイト
- ・ 細胞生物学 和田勝
- ・ <http://www.tmd.ac.jp/artsci/biol/textbook/celltop.htm>

評価

- ・ 実習への参加態度
- ・ 発表
- ・ 出来上がった標本

注意

- 1) けがをしない。けがをさせない
刃、ガラス器具、火傷、
有機溶媒、マウス、薄切装置（重い）
- 2) マウスを逃がさない。
- 3) 協力する（けんかをしない）
- 4) 失敗してもめげない
- 5) 後片付けをする。